

THE HOKURIKU INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

HIAC NEWS

ハイアック・ニュース

一般財団法人 北陸産業活性化センター会報誌

vol. **97**



HIAC NEWS vol.97

INDEX

平成28年度 事業計画書	01
平成27年度 事業報告書	03
北陸ライフサイエンスクラスター推進室 活動報告	14
HIAC TOPICS/財団の事業の取り組み紹介について	16
■小容量バイオマス利用研究会	
■平成27年度 第3回ロボット研究会	
■講演会「革新的IT企業のイノベーション戦略と日本のイノベーションの行方」	
■その他の報告	
賛助会員ズームアップ #28	22
株式会社福井銀行	



表紙画像

福井駅西口エリア (福井県福井市)

県都の玄関口にふさわしい「にぎわい交流場」として福井駅西口の整備が進んでいる。動くモニュメントのある恐竜広場をはじめ、平成28年4月には再開発複合ビルの「ハピリン」(右側のビル)もオープンした。

〈基本方針〉

我が国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、個人消費、設備投資、輸出等で弱含みである。

北陸地域においては、新幹線開業により観光産業を中心に好況であるが、人手不足等懸念材料もある。

当財団は、北陸地域(富山、石川、福井)の産業活性化及び活力ある地域経済を実現するための調査、研究や大学・企業等の研究助成、大学および公設試験研究機関のシーズ(研究成果)の紹介等、各種事業を実施してきた。

平成28年度については、調査研究事業やR&D推進研究助成事業において北陸産業競争力強化戦略が掲げているライフサイエンス分野及び高機能新素材分野を重点的に支援し、北陸地域におけるものづくり産業の拠点化を支援する。

また、プロジェクト支援事業においても、同様にライフサイエンス分野及び高機能新素材分野を重点的に支援するとともに、コーディネータによる技術アドバイスやコーディネート活動については、企業等への積極的な訪問活動を行うことにより会員をはじめとする社会のニーズを適切に把握し、さらに北陸経済連合会との連携をより一層強化することにより、提案型の産学官連携活動を充実し、新規事業発掘や新産業創出を支援する。

各種活動にあたっては、効果を重視しながらも効率的な運用に努め、新たな視点で改善改革し、精力的に取り組むものとする。このため、一人ひとりがチャレンジ精神と継続的な改善意欲を持って担当業務を自律的に実行すると共に、コンプライアンス遵守、人権尊重のもと、「報告・連絡・相談」を基本とする財団内のコミュニケーションの充実と情報の共有化により意思の疎通を図り、北陸地域の産業活性化のため業務に邁進するものとする。

〈事業内容〉

1. 北陸地域の産業の活性化に関する調査、研究

・「北陸地域におけるライフサイエンス分野の産業集積」に関する調査及び研究

当財団では、富山県・石川県における知的クラスター創成事業(I期・II期)での研究成果を進展させ、福井県も加えた三県一体で事業化を見据えた国際競争力を持つイノベーション拠点を構築すべく、健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスターの形成事業を展開してきた。

当活動内容のさらなる具現化を図るうえで、北陸地域の産・学・官・金が結集して持続的に活動を行い、北陸

地域におけるライフサイエンス分野関連産業の一大拠点の形成を目指す必要がある。

本調査では、医薬品や機能性食品、医療機器等において、国内外における産学官金の連携により新たな製品・サービスなどの開発状況や事業化の現状、地域の状況を既存のテクノマップも活用しながら深堀を行い、ライフサイエンス分野の産業集積に対する方向性を見出すとともに必要な提言を行う。

2. 北陸地域の産業の活性化に関するプロジェクトに必要なコンサルティングおよび支援

(1) 産・学・官との連携と支援活動

北陸地域における新規事業や新規産業創出に寄与するために、産学官の連携により、ライフケアや高機能新素材を始めとして、次世代ロボット、未利用エネルギーの活用技術、バイオ、ナノテク等、北陸の優れた最先端技術でイノベーションを生み出し、新たなビジネスチャンスを作り上げる事業展開を支援する。また、産学官連携や異業種交流の支援に加え、企業・大学間等の技術シーズのマッチング等を支援する。

〔重点実施事項〕

- ・高機能新素材の研究開発に対する支援
- ・社会を持続させる環境技術に関する支援
- ・旧北陸ものづくり創生協議会4研究会との連携及び支援
- ・マッチング活動における事業化可能案件に対する積極的支援
- ・調査・研究で得られた個別案件のコンサルティング支援

(2) 国等の事業への支援

国、地方自治体、独立行政法人、大学法人、経済団体、地域団体等が主催または実行委員会を組織して実施する事業で北陸地域の経済・産業の活性化に寄与する事業について、共催、後援、協賛、補助等の支援を実施する。

(3) 技術アドバイス、コーディネート活動の充実

産学官連携による事業展開支援やマッチング等の各種支援を、より効果的に行うためにコーディネータによる各事業への技術アドバイスやコーディネート活動を他機関と連携し、展開する。

〔重点実施事項〕

- ・過年度R&D推進・研究助成採択事業のフォロー及び活動支援

- ・積極的な訪問活動による提案型の産学官連携と支援
- ・他機関コーディネイト活動との連携・協力

3. 健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスターの形成事業

〈文部科学省補助事業：地域イノベーション戦略支援プログラム〉

今後さらなる発展が期待できるライフサイエンス分野の取組みを先導するため、予防・診断・治療分野にそれぞれ強みを持つ富山県・石川県・福井県の3県が一体となり、医薬品や機能性食品、医療機器等における研究開発ポテンシャルをたかめるとともに、産学官金の連携を通じ先進的な技術を開発し、新たな製品・サービスを事業化し、国際競争力を持つ継続的イノベーションを創出発展していくライフサイエンスクラスターを形成する。当財団は、中核を担う総合調整機関として事業を推進する。

〔重点実施事項〕

- ・クラスター事業の研究成果の事業化推進と国内・海外への情報発信強化
- ・地域内外・海外とのネットワーク構築と強化
- ・北陸産業競争力強化戦略(ライフサイエンス産業分野)の推進

4. 北陸地域の産業の活性化に関する研究に対する助成〔R&D推進・研究助成事業〕

新規事業・新規産業の創出に関する事業や企業間のマッチング事業などについて、企業が大学および公設試験研究機関などを行う共同研究や企業間の共同研究など、最先端のイノベーションに直結する事業について公募を行い助成事業を実施する。

〔重点実施事項〕

- ・ライフサイエンス分野及び高機能新素材分野の優先採択

5. 北陸地域の産業の活性化のための普及啓発

(1) 技術シーズ(研究成果)の発表会等の開催

産学官連携による研究開発を推進する一環として関係団体と連携し、独立行政法人等の技術シーズ(研究成果)について発表会等を開催して、北陸地域企業とのマッチングや当財団の活動について、理解を深めてもらう。

(2) 講演会・セミナー等の開催

北陸地域の産業活性化のための課題や当財団が実施した調査研究成果に理解を深めてもらうため、講演会・セミナー等を積極的に開催する。

(3) 会報誌の発行

当財団の各種調査、研究事業の成果や助成事業ならびに主催または共催した講演会、セミナー等について報告するとともに、産業活性化を目指す地域の取り組みなどを賛助会員および関係先等に広く紹介するため、会報誌を発行する。会報誌の制作にあたっては自主企画、立案、直接取材を基本に、親しまれる会報誌を目指す。

6. 情報提供事業

パンフレットの作成・配布やインターネットの当財団のホームページ等により、事業活動等各種情報のタイムリーな提供に引き続き努める。また、文部科学省、中部経済産業局、北陸経済連合会、北陸AJECと情報交換を密にし、引き続き協調・連携体制を維持していく。

以上

I. 事業内容

1. 北陸地域の産業の活性化に関する調査、研究事業

【継続事業1】

(1) 「北陸地域における中小企業の雇用」に関する調査及び研究〈自主調査〉

わが国では、少子高齢化に伴う労働人口減少が進行し、人手不足に関連する問題が顕在化してくるようになり、北陸地域においても、同様の傾向が見られるようになってきている。

このような状況の下、当財団では、北陸地域の雇用問題は喫緊の課題であると認識し、中小企業の雇用の現状、人材確保、人材育成等に焦点を当てた調査研究に取り組むこととした。

特に、今回は、これまであまり調査のなされていない求職側、つまり中小製造業のニーズが高い若手人材である新規大卒者の意識にスポットを当て、中小製造業の求人活動、戦略等について調査、分析を行い、北陸地域の中堅・中小企業における雇用の人材確保および人材育成の一助となるよう報告書を取りまとめた。

【実施概要】

- ①文献調査…各種統計や既存の調査結果から、北陸地域の中小企業の雇用を取り巻く状況等について概観。
- ②事例調査（インタビュー調査）…新規大卒者を継続的に採用している企業、就職活動を経験した大学生および北陸地域の中小製造業に就職した若手社員、地元中小企業への就職状況および就職支援の取組等について大学等に対しそれぞれ調査。
- ③検討委員会…上記の調査結果を基に検討を重ね、報告書を取りまとめた。

【調査結果】

企業側の新規大卒者の採用に関する現状と若手人材側（大学生・若手社員）の就職に対する意識や考え方を把握。若手人材の意識と採用側である中小企業の意識にギャップがあるなどが判明し、人材確保に向けた課題について一定の整理をすることができた。

調査では、北陸地域の学生は、「地元志向」が強い傾向にあり、就職先の決定に際しては働き方や経営方針も重視していることがうかがわれた。一方、地元中小企業の多くは、大学との接点をもつなど学生に直接情報を提供できる機会を活かせていない。これらのことから、提言として「情報のミスマッチの

解消」「企業内での採用活動の体制強化」「地元大学と連携した出合いの充実強化」等を示した。

検討委員会

回	開催日	開催場所
第1回	平成27年 8月20日(木)	金沢市 金沢都ホテル
第2回	平成27年11月16日(月)	金沢市 金沢都ホテル
第3回	平成28年 1月 8日(金)	金沢市 金沢都ホテル

(2) 「北陸地域における産業観光の現状と課題」に関する調査及び研究〈自主調査〉

待望の北陸新幹線が開業し、北陸三県においては県をはじめ各自治体、経済団体、各種関係団体が効果を最大化するための各種活動を行っている。産業観光においても、三県の経済団体が中心となり、各県の産業遺産や産業施設の受入態勢等について活発な議論が交わされている。

本調査研究は、北陸において産業観光に取り組む企業の状況および全国・北陸において成果を上げている事例の調査を通じて、北陸の産業観光を推進し、地域産業さらには地域経済全体をより発展させていくために「企業として」「地域として」今後どのような取り組みが必要かを検討、提言するものである。

〈報告書の概要〉

北陸における産業観光の期待と可能性、産業観光実施施設の現状・課題、課題解決の方向性についてデータ収集及びアンケートによる調査整理を行い、それらを踏まえて今後の北陸における産業観光推進方策を企業レベル、地域レベルで提案する。

〈北陸産業観光の課題〉

- ①個々の産業観光施設、受け入れ企業が必ずしも十分に対応しきれていない。
- ②北陸に潜在的に存在する産業観光の要素・素材が十分に「資源化」されていない。
- ③産業観光資源が十分に商品化されていない。
- ④広域的、組織的に推進する仕組みが必ずしも十分に整っていない。

以上のようなことを踏まえ、北陸の産業観光推進に向けた方向性として次のようなことが挙げられる。

〈まとめ〉

- ①産業観光に取り組む企業の課題解決を通じて対応力を高める。

- ②企業による産業観光への参入を促し、潜在化している産業観光資源の開拓と充実を図る。
- ③産業観光推進に向けた取り組みを広域的に、地域ぐるみで進める。

検討委員会

回	開催日	開催場所
第1回	平成27年 8月19日(水)	金沢市 金沢都ホテル
第2回	平成27年10月22日(木)	金沢市 金沢都ホテル
第3回	平成27年12月24日(木)	金沢市 金沢都ホテル
第4回	平成28年 2月12日(金)	金沢市 金沢都ホテル

2. 北陸地域の産業の活性化に関するプロジェクトに必要なコンサルティング及び支援事業

【継続事業2】

(1) 産・学・官との連携と支援活動

A. サステナブルテクノロジーセミナー

当財団では、昨年度より、北陸地域において持続可能な社会を実現するための技術を見出し、企業や大学の研究者に広く情報を提供し実用化を後押しすることを目的に、サステナブルテクノロジーセミナーを立ち上げた。今年度は、未利用エネルギーの一つである地中熱・地下水熱を取り上げた。

【第2回サステナブルテクノロジーセミナー】

「地中熱・地下水熱利用の現状と課題

～今後の事業化・普及促進に向けて～」

〔開催日〕平成27年12月17日(木)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

〔参加者数〕89名

〔第1部：基調講演〕

「地域に根ざす地中熱技術

ー強みを活かし繋ぐ開発実用の現状と今後」

福井地中熱利用研究会 会長兼福井大学産学

官連携本部 客員教授 宮本重信 氏

〔第2部：事例紹介〕

「電力半減を切り口にしたダントツの生産改革」

コマツ粟津工場 生産技術部管理課

主幹 戸井良広 氏

〔第3部：研究紹介〕

「土のヒートパイプ現象を利用した地表

ー地中間の熱輸送装置」

石川県立大学 環境科学科 農地環境学研究

室 准教授 百瀬年彦 氏

「ヒートパイプBACHによる未利用熱活用の可能性」

ー浅層地中熱やボイラ廃熱利用融雪の紹介ー

福井大学 大学院工学研究科 機械工学専攻

教授 永井二郎 氏

「富山県での地下水熱利用の現状」

富山大学 理工学研究部 地球生命環境科学

専攻 教授 上田晃 氏

〔交流会〕

B. 次世代ロボット研究会

北陸の産業集積を活かし、北陸三県の大学・企業が有するロボット関連の知識・技術を結集させ、産業活性化を図ることを目的に、当財団と北陸経済連合会が事務局となり、平成23年9月に「次世代ロボット研究会・北陸」を発足し、活動を進めている。今年度の活動は以下のとおりである。

a. 平成27年度第1回次世代ロボット研究会・北陸

原子力発電所で万が一災害が発生した場合の緊急時における災害ロボットの活用について説明を受けた後、ロボットのデモンストレーションやその他の訓練設備等を見学した。

〔開催日〕平成27年8月31日(月)

〔開催場所〕敦賀市 日本原子力発電(株) 原子力緊急事態支援センター

〔参加者〕40名

b. 平成27年度第2回次世代ロボット研究会・北陸

アクティブリンク株式会社田中一成福井支社長及び浅野克久主席技師を迎え、パワーアシストスーツの技術概要や動向に関する講演会を開催した。

〔開催日〕平成27年12月17日(木)

〔開催場所〕金沢市 金沢商工会議所

〔講演〕

・「パワーアシストスーツの動向」

アクティブリンク(株)

福井支社支社長 田中一成 氏

・「パワーアシストスーツAWN-03の技術概要」

アクティブリンク(株)

主席技師 浅野克久 氏

・パワーアシストスーツ装着体験

〔参加者〕49名

c. 平成27年度第3回次世代ロボット研究会・北陸

研究会メンバーの研究・開発状況等の報告の後、トヨタ自動車株式会社パートナーロボット部玉置章文部長が、トヨタパートナーロボットの取組状況や実用化に向けた課題について講演された。講演後の交流会では、講師、研究会メンバー、参加者同士で活発な意見交換が行われた。

〔開催日〕平成28年3月10日(木)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル
〔講演〕「ロボットと暮らす社会にむけて」
～トヨタ・パートナーロボットの開発状況～
トヨタ自動車(株)
パートナーロボット部 部長 玉置章文 氏

〔参加者〕79名
〔交流会〕

C. 講演会「インダストリー4.0およびIoTの最新動向と展望」

北陸経済連合会イノベーション推進事業部と共催で、(株)野村総合研究所上席専門スタッフ足立興治氏と三菱電機(株)名古屋製作所主管技師長河田 薫氏をお招きし、IoTに関する講演会を開催した。

足立氏は、現在、ドイツで取り組まれ「第4次産業革命」ともいわれている「インダストリー4.0」の状況について、取り組みに至る経済構造やドイツの先進企業の取り組みについて、また、河田氏は、三菱電機(株)のICTを活用した生産技術について講演された。

〔開催日〕平成27年5月25日(月)

〔開催場所〕富山市 富山県民会館

〔参加者〕115名

〔講演〕

「次世代製造業の新しい潮流

ードイツの取り組みを踏まえながらー」

(株)野村総合研究所 新会社設立準備室

上席専門スタッフ 足立興治 氏

「e-F@ctoryモノづくりの将来像と

FA統合ソリューション」

三菱電機(株)名古屋製作所

e-F@ctory推進プロジェクトグループ

主管技師長 河田 薫 氏

D. 講演会「革新的IT企業のイノベーション戦略と日本のイノベーションの行方」

北陸経済連合会イノベーション推進事業部と共催で、世界平和研究所主任研究員雨宮寛二氏をお招きし、IT産業を代表する革新的な企業イノベーション戦略に関する講演会を開催した。

雨宮氏は、アップル、グーグル等の世界的な大企業のイノベーション戦略の現況について講演された。

〔開催日〕平成28年3月24日(木)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

〔参加者〕58名

〔講演〕「革新的IT企業のイノベーション戦略と

日本のイノベーションの行方」
公益財団法人世界平和研究所

主任研究員 雨宮寛二 氏

E. 研究会との連携

旧「北陸ものづくり創生協議会」のメンバーが継続している4研究会(ほくりく環境・バイオマス研究会など)と共同事業等を実施した。

【北陸産業活性化フォーラム】

「基調講演」および4研究会のメンバーによる「異分野連携交流会」を実施した。

〔開催日〕平成27年11月20日(金)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

〔主催〕一般財団法人北陸産業活性化センター

〔共催〕NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会、北陸マイクロナノプロセス研究会、ほくりく先端複合材研究会、ほくりく環境・バイオマス研究会

〔参加者〕73名

〈基調講演〉

〔演題〕「マッチングビジネスがもたらす

地域産業の活性化」

リンカーズ(株)

代表取締役Founder&CEO 前田佳宏 氏

〈異分野連携交流会〉

〔出展社数〕26企業・団体

各研究会の活動のPRの場として、また異分野の業種が情報交換等を行う場として交流会を開催した。各研究会のメンバー・団体がブース出展し、事業活動や製品について紹介を行ったほか、各参加者が情報交換などを行った。

(2) 国等の事業の支援

国、地方自治体、国立研究開発法人、大学法人、経済団体、地域団体等が主催または実行委員会を組織して実施する事業で北陸地域の経済・産業の活性化に寄与する事業について、共催、後援、協賛等の支援を実施した。

A. 北陸技術交流テクノフェア〔共催〕

当財団の概要や「R&D推進・研究助成事業」の概要と平成25年度採択件名の研究成果及び「北陸ライフサイエンスクラスター」事業を紹介した。

〔開催日〕平成27年10月8日(木)～9日(金)

〔開催場所〕福井市 福井県産業会館

〔主催団体〕技術交流テクノフェア実行委員会

B. Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn〔協賛〕

〔開催日〕平成27年11月16日(月)～17日(火)

〔開催場所〕金沢市 ANAクラウンプラザホテル金沢

〔主催団体〕国立大学法人北陸先端科学技術大学院

大学産学連携本部産学官連携総合推進センター

公益財団法人北陸先端科学技術大学院大学支援財団

独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部

国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

C. ビジネス・サミット2015～北陸新幹線開業！

「食」と「観光」の大商談会～〔後援〕

〔開催日〕平成27年6月3日(水)

〔開催場所〕富山市 テクノホール富山産業展示館

〔主催団体〕北陸銀行、大垣共立銀行

D. 2015年産業技術総合研究所中部センターオープンラボ〔後援〕

〔開催日〕平成27年6月23日(火)～24日(水)

〔開催場所〕名古屋市 産業技術総合研究所 中部センター

〔主催団体〕国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター

E. しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2015」〔後援〕

〔開催日〕平成27年10月22日(木)

〔開催場所〕金沢市 石川県産業展示館 4号館

〔主催団体〕一般社団法人北陸地区信用金庫協会

F. 第10回企業&NPO協働アイデアコンテスト〔後援〕

〔開催日〕平成27年11月19日(木)

〔開催場所〕名古屋市 名古屋商工会議所ビル

〔主催団体〕公益財団法人中部圏社会経済研究所

G. 2016年産業技術総合研究所中部センター研究講演会〔後援〕

〔開催日〕平成28年3月1日(火)

〔開催場所〕名古屋市 愛知県産業労働センター

〔主催団体〕国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター

(3) 技術アドバイス・コーディネート活動

当財団の産学官連携コーディネータが、産・学・官のマッチングを通じて課題を解決し、新規の成果に結びつけるべく活動を行った。企業、大学、自治体等から依頼を受けた案件については適切な相手先を紹介、またこれらを訪問し自ら発掘した技術シーズ・ニーズについては関心を持ちそうな相手先に提案を行った。当財団のR&D推進・研究助成に採択されたテーマのフォロー活動も行った。

コーディネート活動	件数	具体的内容・成果
新規訪問件数	44件	
依頼件数・提案件数	28件	
マッチング成立	12件	産学6件、産産5件、産官1件
さらなる進展あり	8件	具体的成果に向け進行中

3. 文部科学省補助事業：地域イノベーション戦略支援プログラム

【継続事業3】

(1) 「北陸ライフサイエンスクラスター」事業

文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム(国際競争力強化地域)「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター」は3年度目を迎え、招へい研究者の研究開発が加速され、論文投稿、学会発表等が活発に行われ、事業化に向けた試作品等の作成・評価も基本計画書に沿って順調に進んできている。

当財団は総合調整機関として、プロジェクトディレクター(PD)、統括コーディネータ、地域連携コーディネータ(CD)等が、各参画機関との連絡を密にし、研究開発の進捗管理、事業化に向けた情報収集・提供、競争的外部資金の獲得に向けた活動を実施した。

事業年度の3年目にあたり、「地域イノベーション戦略推進地域」、「地域イノベーション戦略支援プログラム」の中間評価が実施され、北陸ライフサイエンスクラスターは総合評価“A”と高い評価を受けた。

A. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

「がん・生活習慣病」、「認知症」、「広汎性発達障害」といった疾病に関して、予防から診断、治療を行う先進技術を確立するため、大学や企業から以下の9テーマについて研究者を招へいして研究開発を展開するとともに、5年継続事業の中間年度に差し掛かるので、出口である事業化の見通しを明確にし、確実な事業化を目指し、研究者受入れ大学研究室の代表研究者、招へい研究者他関係者、プロジェ

クトディレクター、統括・地域連携コーディネーター等により活動を行なった。

[研究テーマ]

- ・新規TLRリガンドを活用した自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発
- ・生活習慣病の重症度を診断するメタボリックチップ開発に向けた基盤研究
- ・生活習慣病の発症・進展における新規ターゲットとしてのToxic AGEs (TAGE) の関与とその阻止
- ・健康長寿社会の実現に向けた革新的デバイスを用いたチップ型ナノバイオ計測システムの創成
- ・チタンの微細加工ならびに異なるチタン接合技術による生体適合性のよい外科用インプラントの作製
- ・陽子線癌治療における高度な照射法に対応した検証技術の開発
- ・ナトリウム利尿ペプチドを用いる新たな癌治療戦略
- ・代謝工学を用いた抗炎症剤の開発
- ・抗原特異的な抗体産生細胞新規同定法の開発とその応用

[ラボミーティングの開催]

招へい研究者の研究室を訪問しラボ・ミーティングを開催し、事業化へ向けた知的財産権の管理、パートナー企業とのマッチング状況、大学TLO・産学連携機関との連携状況等における課題及び進捗の把握を行い、ゴールへ向けた支援を行なった。

[事業化へ向けたアドバイス]

- ①特に平成27年度は、文部科学省の中間評価の実施に備えて、中間評価への資料提出前に外部評価委員会を開催し、活動内容に対する評価とアドバイスを行なった。
- ②国際技術動向調査ユニット委員2名(医療機器及び知的財産権の専門家)によるアドバイスを行なった。

[海外向け情報発信]

事業化に向け研究テーマ毎にその概要を英文で作成し、北陸ライフサイエンスクラスターホームページを活用し、海外向け情報発信を行なった。

B. 大学等の知のネットワークの構築

ライフサイエンスクラスター形成に向け、強力なネットワークの構築を目指し、研究開発の推進と進捗管理、競争的外部資金の獲得、事業化展開、情報発信等々の活動を、富山県、石川県、福井県の各県

及び県支援機関の担当者と連携を行いながら事業を推進した。

特に、知のネットワークを構築するため、本事業がターゲットとしている「広汎性発達障害」、「認知症」、「がん・生活習慣病」についての地域内の研究者、研究機関、関連企業、さらには企業や研究室を訪問して収集した技術シーズ等についてテクノマップ(データベース)を作成した。

[競争的外部資金の獲得]

競争的外部資金の獲得支援を行い、下記の研究開発資金等を獲得した。

- ・経済産業省 「戦略的基盤技術高度化支援事業」
- ・経済産業省 「健康寿命支援事業延伸産業創出推進事業」
- ・経済産業省中小企業庁 「小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業支援」
- ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 「革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業」
- ・総務省 「戦略的情報通信研究開発推進事業 地域ICT振興型研究開発」
- ・一般財団法人北陸産業活性化センター 「R&D推進・研究助成」
- ・いしかわ次世代産業創造ファンド 「次世代産業創造支援事業(ライフサイエンス)」
- ・公益財団法人富山県新世紀産業機構 「産学官連携推進事業」
「農商工連携 とやま新事業創造基金 農商工連携ファンド助成事業」
「高機能素材・ライフサイエンス産学官連携戦略研究事業」
「ものづくり研究開発・雇用創造支援事業」
「ヘルスケア産業創出研究開発支援事業」 等々

[展示会出展等によるマーケティング]

北陸ライフサイエンスクラスターの事業概要を広く紹介し、情報交換を行い、連携、交流を推進するため、展示会に出展した。

- a. 富山県ものづくり総合見本市2015に出展
[開催日] 平成27年4月23日(木)~25日(土)
[開催場所] 富山市 富山産業展示館、富山市体育文化センター
- b. ビジネス創造フェアいしかわ2015に出展
[開催日] 平成27年5月14日(木)~16日(土)
[開催場所] 金沢市 石川県産業展示館
- c. 第2回みやぎ医療機器創生産学官金連携フェアに

出展

〔開催日〕平成27年7月2日(木)

〔開催場所〕仙台市 AER(アエル)

d. 北陸技術交流テクノフェアに出展

〔開催日〕平成27年10月8日(木)～9日(金)

〔開催場所〕福井市 福井県産業会館

e. BioJapan2015に出展支援

〔開催日〕平成27年10月14日(水)～16日(金)

〔開催場所〕横浜市 パシフィコ横浜

f. Matching HUB Kanazawa 2015 Autumnに出展

〔開催日〕平成27年11月16日(月)～17日(火)

〔開催場所〕金沢市 ANAクラウンプラザホテル金沢

g. 第2回メディカルメッセに出展

〔開催日〕平成28年2月3日(水)～4日(木)

〔開催場所〕名古屋市 名古屋市中企業振興会館

〔医療機器〕

- ①石川県臨床工学技士会との医療機器開発・改良に係るニーズ発表会を行なった。
- ②北陸ライフサイエンスクラスター主催による第6回シンポジウムを開催し情報提供等を行なった。

〔医薬品(機能性食品含む)〕

- ①北陸ライフサイエンスクラスター主催による第5回シンポジウムを開催し、平成27年4月から始まった機能性食品の表示に関する情報提供等を行なった。
- ②福井県が産地の果実植物「なつめ」を用いた機能性食品を創出するため「北陸なつめ研究会」が設立され、この研究会の活動支援を行なった。

〔医療〕

地域の大学を中心に実施されている認知症プロジェクト、がんプロジェクト、脳(COI)プロジェクト、北陸臨床試験支援センター等との連携によるテクノマップの充実化及びテクノマップ活用による、新たな研究開発課題の発掘、産学官金共同開発プロジェクトの立上げ及び競争的外部資金獲得の支援等を行なった。

〔健康産業〕

北陸ライフケアシステム研究会(北陸3県の看護系大学が参加し平成26年度から活動中)において、地域からの技術シーズ創出と事業創出等に取組んだ。

〔経済産業省との連携〕

経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局事業の「北陸地域ライフサイエンス産業創出支援事

業」との連携により、コーディネート活動及び地域企業の状況等について情報共有を行なった。

〔北陸産業競争力強化戦略に係る活動〕

漢方薬産業の活性化を目指し、富山大学と富山県の薬用作物研究に係る意見交換の場を設け、富山県産の薬用作物の実用化について情報共有等を行なった。

〔海外調査、情報収集、情報発信〕

国際競争力強化を目指し、韓国で開催の国際会議への参加、展示会への出展支援及び、米国シリコンバレーの調査を行った。

a. 第16回北陸(日本)・韓国経済交流会議

北陸経済連合会、北陸AJEC(北陸環日本海経済交流促進協議会)等が主催した、北陸(日本)・韓国経済交流会議が韓国の蔚山で開催され、会議の開催に併せ北陸ライフサイエンスクラスターでは、「ライフサイエンスクラスター交流団」を組織し、原州医療機器テクノバレー、大邱慶北先端医療複合団地の視察、情報交換を行った。

北陸・韓国経済交流会議の複合医療専門分科会では、「なつめの需要拡大と付加価値向上を目指した機能性研究—なつめ研究会の挑戦—」の演題で発表を行った。

〔訪問日〕

平成27年8月25日(火)～8月29日(土)

〔第16回北陸(日本)・韓国経済交流会議〕

8月28日(金) ロッテホテル蔚山 全体会議、複合医療専門分科会

〔ライフサイエンスクラスター交流団〕

北陸ライフサイエンスクラスター、知と医療機器創生宮城県エリア等 11名

〔訪問先〕

原州医療機器テクノバレー 大邱慶北先端医療複合団地

b. 韓国江原道「江原医療機器展示会(GMES2015)」

海外との連携の一環として韓国江原道市で開催の国際医療機器展示会への出展支援を行い、情報収集と市場調査を行った。

〔訪問日〕平成27年9月6日(日)～10日(木)

〔訪問先〕韓国 原州医療機器総会支援センター

〔出展〕ライフケア技研株式会社

c. アメリカ シリコンバレー調査

先進地域として医療産業の現況とスタートアップ企業の支援機関であるアクセラレータ・インキュベータ

等の調査及び北陸ライフサイエンスクラスターの開発技術や商品の米国への輸出に向けた連携先の調査を行った。

〔訪問日〕平成27年12月7日(月)～13日(日)

〔訪問先〕Plug and Play、Nest GSV、San Jose Biocube、B-Bridge、Rainbow Bioscience 等

〔会議、シンポジウム等の開催〕

事業推進に係る協議を行う会議やライフサイエンス分野の技術情報発信を行うシンポジウムを開催した。

a. 北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会

平成27年度の活動状況報告を行うとともに、平成28年度の事業計画概要について説明し、了承を受けた。

〔開催日〕平成28年2月25日(木)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

b. 外部評価委員会

平成27年度の活動計画、実施状況、研究成果の実用化について評価を受けるとともに、中間評価、事業化等に向けたコメント、アドバイスを得た。

〔開催日〕平成27年8月31日(月)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

c. 国際技術動向調査ユニット

国際技術動向調査ユニット委員である医療機器及び知財の専門家より、医療機器分野における事業化とマーケティング、バイオ医薬品等の研究開発と事業化における特許戦略のアドバイスを受けた。

第1回 〔開催日〕平成27年10月15日(木)～16日(金)

〔開催場所〕富山市 インテックタワー

〔専門家〕公益財団法人医療機器センター
医療機器産業研究所

上級研究員 日吉和彦氏

〔内容〕4社の意見交換・アドバイス

第2回 〔開催日〕平成27年11月9日(月)～10日(火)

〔開催場所〕富山市 富山大学、射水市 富山県立大学

〔専門家〕特許業務法人特許事務所サイクス
代表社員 塩澤寿夫氏

〔内容〕大学等の研究者に対する知財戦略、国際化等の意見交換・アドバイス

d. 第5回北陸ライフサイエンスクラスターシンポジウム

〔機能性食品・健康食品産業の成長戦略〕

～新たな食品の機能性表示制度に

どのように対応するか～

〔開催日〕平成27年6月2日(火)

〔開催場所〕福井市 福井県国際交流会館

〔参加者〕約80名

e. 石川県臨床工学技士会ニーズ発表会

〔開催日〕平成27年8月20日(木)

〔開催場所〕金沢市 石川県立中央病院

〔参加者〕約50名

f. 第6回北陸ライフサイエンスクラスターシンポジウム

〔北陸発医療機器の創製を目指して～整形外科分野の最前線と、新規参入の先進事例に学ぶ〕

〔開催日〕平成27年11月19日(木)

〔開催場所〕金沢市 金沢ニューグランドホテル

〔参加者〕約65名

〔他地域等との連携推進〕

知と医療機器創生宮城県エリア、けいはんな学研都市ヘルスケア事業、さっぽろヘルスイノベーション'Smart-H'、次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点(長野地域)等と意見交換・情報交換を行い、事業推進に取り組んだ。

C. 地域における人材育成の取り組み

地域連携コーディネータが中心となり、大学及び公設試験機関等との連携のもとに人材育成プログラム4件を作成し、セミナー等は地域資金により大学・関係機関が主催し行った。

a. 健康食市場展開セミナー

〔開催日〕平成27年7月8日(水)

〔開催場所〕金沢市 金沢商工会議所 2階 大会議室

〔主催〕一般社団法人石川県食品協会、石川県

b. 若手エンジニアステップアップセミナー

≪機能性食品の基礎と実際を学ぶ≫6回シリーズ

〔開催日〕平成27年9月2日(水)～平成27年10月14日(水)

〔開催場所〕射水市 富山県立大学

〔主催〕富山県立大学

c. バイオ人材育成トレーニングコース(機能性食品の品質試験の実際を学ぶ)

〔開催日〕平成27年10月22日(水)～平成27年10月23日(木)

〔開催場所〕射水市 富山県立大学

〔主催〕富山県バイオ産業振興協会

- d. 機能性食品・健康食品開発者向け人材育成講座
 (開催日) 平成27年11月5日(木)
 (開催場所) 金沢市 石川県地場産業振興センター
 本館3階第3研修室
 (主催団体) 一般社団法人石川県食品協会
 (共催) 一般財団法人北陸産業活性化センター、
 石川県立大学

D. 研究設備・機器等の共用化

北陸地域の大学、公設試験機関等のライフサイエンス分野で設置されている共用設備について、従来の7機関28機種に、新たに富山県薬事研究所の2機材を追加し、ホームページにおいて広く紹介した。

E. 事業の支援

中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、大学等が主催するセミナー等で、北陸ライフサイエンスクラスター事業目的に沿う事業について北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会で後援等の支援を行った。

- a. 医療機器分野 知的財産ワークショップin北陸
 (開催日) 平成27年10月29日(木)、11月12日(木)、
 11月24日(火)
 (開催場所) 金沢市 ホテル金沢
 (主催) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
- b. 医学研究シーズ・医療現場ニーズ発表会
 (開催日) 平成27年12月9日(水)
 (開催場所) 富山市 富山大学附属病院 総合臨床
 教育センター
 (主催) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
- c. 医療関連産業参入セミナーin金沢
 第1回 (開催日) 平成27年12月7日(月)
 (開催場所) 金沢市 金沢大学附属病院
 CPDセンター
 (主催) 中部経済産業局電力・ガス
 事業北陸支局
 第2回 (開催日) 平成28年1月7日(木)
 (開催場所) 金沢市 金沢大学附属病院
 CPDセンター
 (主催) 中部経済産業局電力・ガス
 事業北陸支局
 第3回 (開催日) 平成28年1月27日(水)
 (開催場所) 金沢市 石川県地場産業振
 興センター
 (主催) 中部経済産業局電力・ガス
 事業北陸支局

- d. ライフサイエンスセミナーin福井
 (開催日) 平成28年3月3日(木)
 (開催場所) 福井市 福井市地域交流プラザ
 (主催) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
- e. なかじまプロジェクト市民公開講座
 (開催日) 平成28年3月6日(日)
 (開催場所) 七尾市 サンライフプラザ
 (主催) 金沢大学医薬保健研究域医学系 脳老
 化・神経病態学
- f. 医工連携事業化セミナーin富山
 (開催日) 平成28年1月19日(火)
 (開催場所) 富山市 富山県民共生センター サン
 フォルテ
 (主催) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

4. 北陸地域の産業の活性化に関する研究に対する助成
 (R&D推進・研究助成) 事業

【継続事業5】

企業・大学等の研究機関から、①エネルギー・②環境・
 ③ものづくり・④製造技術・⑤地域活性化の5分野で案件
 を募集し、審査委員会にて厳正に審査し、助成対象者を決
 定した。交付決定通知書交付式では、併せて研究助成成果
 発表会を開催した。

〈審査委員会〉

- (開催日) 平成27年7月3日(金)
 (開催場所) 金沢市 金沢都ホテル
 (委員) 委員長 都築明博 国立研究開発法人産
 業技術総合研究所中部センター
 産学官連携コーディネータほか3名

(1) 応募件数と助成決定結果

応募件数	助成件数	助成金額
42件	7件	18,080千円

(2) 研究テーマと助成対象者

研究テーマ	申請者	助成金(千円)
自己再生型バイオリアファイナリ技術を用いた地域の熱・電力循環プロジェクト	金沢大学 理工研究域機械工学類 榎本 啓士	3,000
血流動態を見える化することで皮膚癌・乳癌の診断と再生皮膚の定着度を識別できるin-vivoバイオイメージング新技術の創出	富山高等専門学校 電子情報工学科 秋口 俊輔	1,600
北陸産オオムギの湿害回避を目指したイメージング質量分析による効果的なアブシン酸の投与方法の研究	福井県立大学 生物資源学部 植物環境学分野 塩野 克宏	3,000
DC-DC充電システムとBMSを内蔵した小型車載用充電システムの開発及び試作	アールアンドスポーツ ディベロップメント(株)	3,000
次世代診断システム開発を目指した修飾タンパク質特異的モノクローナル抗体の作製	富山大学大学院 理工学研究部 (工学) 黒澤 信幸	2,980
地域特産なつめの普及を目指した健康機能性に関する研究	福井県立大学 生物資源学部 川畑 球一	3,000
シリコン基板を用いた新規高性能不揮発メモリの開発	金沢大学 理工学域電子情報学類 森本 章治	1,500

〈交付決定通知書交付式・研究助成成果発表会〉

〔開催日〕平成27年7月28日(火)
〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル
〔成果発表〕平成23~24年度採択

発表テーマ	発表者
「福井県立大学育成の小麦新品種“福井県大3号”を用いた地産地消ラーメンによる地域活性化」	福井県立大学 村井 耕二氏
「高出力テラヘルツ波光源(ジャイロトロン)の開発」	福井大学 出原 敏孝氏
「人工関節置換術における術中インプラント設置角測定デバイスの開発」	金沢大学附属病院 整形外科 楯野 良知氏

また、平成25年度の採択分について、成果報告を会報に掲載し、北陸技術交流テクノフェアで、成果報告のパネルを展示した。

5. 北陸地域の産業活性化のための普及啓発事業

【継続事業6】

(1) 講演会・セミナー等の開催

A. 産業活性化と地方創生に関する講演会

北陸地域の産業界においては、雇用の確保が重要な課題と

して取り上げられるものであり、若者や女性そしてシニア層に至るまでの活用が急務とされる。そこで、国内外における企業情報に詳しい講師を招請し、北陸地域の産業界や経済界の今後の成長戦略の道筋や方向性を見出すべく、大阪市立大学同窓会北陸支部との共催で講演会を開催した。

〔開催日〕平成27年9月6日(日)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

〔共催団体〕大阪市立大学同窓会北陸支部

〔後援団体〕北陸経済連合会、北陸環日本海経済交流促進協議会、大阪市立大学同窓会

〔参加者〕87名

〔講演〕「若者・女性・シニア層の活躍による産業活性化と地方創生」

〈講師〉シンクタンク・ソフィアバンク

代表 藤沢久美氏

B. 平成26年度調査・研究事業報告会

a. 「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」

調査・研究の実施内容について、(株)日本経済研究所 常務執行役員 佐藤淳氏が報告を行い、次いで本調査事業の委員会委員長である東北学院大学経営学部 教授 折橋伸哉氏が、ものづくり中小企業の競争力構築と持続可能性について講演した。

〔開催日〕平成27年6月2日(火)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

〔参加者〕50名

〔第1部：調査報告〕

株式会社日本経済研究所 常務執行役員

佐藤 淳氏

〔第2部：基調講演〕

「ものづくり中小企業の競争力構築と持続可能性」

〈講師〉東北学院大学 経営学部

教授 折橋伸哉氏

b. 「北陸地域における農業分野の今後の方向性」

北陸地域農業の今後の方向性として、主に企業(異業種経営体)と農業の連携や協働に関し提言を行うこととし調査を実施した。北陸地域の今後の農業の方向性と企業が農業事業に参画するにあたりヒントとなるよう調査報告会を開催した。

〔開催日〕平成27年6月8日(月)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

〔参加者〕60名

〔第1部：調査報告〕

株式会社日本経済研究所 常務執行役員

佐藤 淳氏

[第2部：基調講演]

[北陸地域における今後の農業の展開方向について]

〈講師〉 東北大学大学院 農学研究科

教授 伊藤房雄 氏

[第3部：パネルディスカッション]

〈パネリスト〉

(株)日本政策投資銀行北陸支店 企画調査課長

新井洋司 氏

東北大学大学院 農学研究科 教授 伊藤房雄 氏

福井県 農林水産部 技幹 酒井智吉 氏

(株)ぶった農産 代表取締役社長 佛田利弘 氏

元(株)福光屋 常務取締役 梁井 宏 氏

(2) 技術シーズ (研究成果) の発表会の開催

・産業技術総合研究所「技術普及講演会」

北陸地域の産業の高度化や新産業の創出等の支援活動として、産業技術総合研究所中部センターの講師を招き同所のシーズを紹介した。今回は、産学官マッチングイベント「Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn」での関係機関セミナーとして開催した。

〔開催日〕平成27年11月17日(火)

〔開催場所〕金沢市 ANAクラウンプラザホテル金沢

〔共催団体〕国立研究開発法人産業技術総合研究所
中部センター

〔参加者〕99名

〔発表テーマ〕

〈講師：産業技術総合研究所〉

- ・無機機能材料研究部門における研究開発活動と技術シーズの紹介
- ・IoTを巡る国内外の動向
- ・製造のロボット化に関する知能システム研究部門の取り組み
- ・マイクロ波プロセスで導くCFRPの高速成形

(3) 情報提供事業

A. 会報の発行

会報94号(平成27年7月)、95号(平成27年11月)、96号(平成28年3月)を発行し、関係先に配布した。

B. ホームページによる情報発信

当財団のホームページを随時更新し、各種情報のタイムリーな提供を実施した。

- ・講演会、セミナーの開催案内
- ・R&D推進・研究助成事業の募集案内
- ・事業計画書、会報誌の掲載 ほか

C. パンフレットの発行

当財団の概要や事業などを紹介したパンフレットを作成し、周知活動に使用した。

6. 連絡会議等の開催

(1) 連絡会議

当財団の事業活動と意を同じくする全国の産業活性化センター及び地域技術センターと、それぞれの地域事情や共通課題の解決に向けて、意見交換や交流を図った。

A. 第43回全国産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕平成27年9月17日(木)～18日(金)

〔開催場所〕北海道 小樽市

B. 全国地域技術センター連絡協議会

第1回 〔開催日〕平成27年7月10日(金)

〔開催場所〕東京都 霞山会館

第2回 〔開催日〕平成27年11月12日(木)～

13日(金)

〔開催場所〕岡山県 津山市

C. 第14回北陸・中部産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕平成27年12月11日(金)

〔視察場所〕愛知県豊田市 とよたエコフルタウン

〔開催場所〕名古屋市 公益財団法人中部圏社会経済研究所

(2) 賛助会員企業・団体連絡会

賛助会員企業・団体との情報交換を密に行うために、管理部門及び総務部門の代表の皆様に対し、事業計画や事業予算及び主要実施業務を説明し、当財団に対する理解と指導・支援を求めた。

〔開催日〕平成27年4月23日(木)

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

〔出席会員企業〕14社

II. 総務事項

1. 理事会の開催

(1) 第15回理事会

- [開催日] 平成27年6月8日(月)
- [場所] ホテル日航金沢
- [出席者] 理事8名、監事2名
- [議案]
- 第1号議案 平成26年度事業報告書(案)について
- 第2号議案 平成26年度財務諸表(案)及び監査報告書について
- 第3号議案 平成26年度公益目的支出計画実施報告書(案)及び監査報告書について
- 第4号議案 理事及び監事の選任(案)について
- 第5号議案 平成27年度第14回評議員会の開催(案)について

(2) 第16回理事会(書面決議)

[提案事項] 議案 代表理事1名、専務理事1名、常務理事兼事務局長1名選定(案)について
提案された上記事項について平成27年6月26日(金)に書面決議により当該提案を可決する旨の決議があったものとみなされた。

(3) 第17回理事会

- [開催日] 平成28年3月15日(火)
- [場所] 金沢都ホテル
- [出席者] 理事8名、監事1名
- [議案]
- 第1号議案 平成28年度事業計画書(案)について
- 第2号議案 平成28年度収支予算(案)について
- 第3号議案 特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針(案)、特定個人情報等取扱規程(案)について
- 第4号議案 第15回評議員会の開催(案)について

2. 評議員会の開催

(1) 第14回評議員会

- [開催日] 平成27年6月24日(水)
- [場所] ホテル日航金沢
- [出席者] 評議員5名
- [議案]
- 第1号議案 平成26年度財務諸表(案)及び監査報告書について
- 第2号議案 平成26年度公益目的支出計画実施報告書(案)及び監査報告書について
- 第3号議案 評議員の選任(案)について

(2) 第15回評議員会

- [開催日] 平成28年3月24日(木)
- [場所] 金沢都ホテル
- [出席者] 評議員6名
- [議案]
- 第1号議案 「平成28年度事業計画書(案)」について
- 第2号議案 「平成28年度収支予算(案)」について
- 第3号議案 「評議員1名の辞任に伴う交代評議員の選任(案)」について

3. 業務及び財産状況の検査

平成27年5月26日 監事監査

4. 登記事項

平成27年7月 7日 一般財団法人変更登記及び印鑑届 理事・監事及び代表理事並びに評議員の変更

5. 内閣府への認可申請・届出事項

平成27年6月30日 公益目的支出計画実施報告書
平成27年7月24日 公益目的支出計画等変更届出書(代表理事の変更)
平成28年1月22日 公益目的支出計画修正書

6. 労働基準監督署届出事項

平成27年6月22日 就業規則変更届(私有車通勤要則)
平成27年7月 6日 時間外労働・休日労働に関する協定届
平成28年3月23日 就業規則変更届(職員・嘱託管理職員・嘱託職員就業規則、給与規程、退職金規程、表彰規程、懲戒規程、私有車通勤要則、秘密情報保持規程、特定個人情報等取扱規程

以上

【附属明細書】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する事業報告内容を補足する重要な事項はありません。

以上

ビジネス創造フェアいしかわ2016に出展

ビジネス創造フェアいしかわ2016 ～技術の翼を～

5/19から5/21まで石川県産業展示館2号館において開催された「ビジネス創造フェアいしかわ2016 ～技術の翼を～」に北陸ライフサイエンスクラスター事業や北陸先端科学技術大学院の高村研究室の紹介を行うとともに、情報収集、企業等との交流を推進するため出展しました。MEX金沢（第54回機械工業見本市金沢）、e-messe kanazawa 2016（第32回いしかわ情報システムフェア）も同時開催され、多くの来場者でにぎわい、活発な情報交換が行われました。

- ◇展示会名：ビジネス創造フェアいしかわ2016 ～技術の翼を～
- ◇開催期間：平成28年5月19日（木）～21日（土） 10：00～17：00
- ◇開催場所：石川県産業展示館2号館（金沢市袋島町南193）
- ◇主催：公益財団法人石川県産業創出支援機構



北陸ライフサイエンスクラスター



北陸先端科学技術大学院高村研究室



総合開会式



産業展示館 2号館

井上春成賞を受賞

2016年度の井上春成賞に、大阪大学の片山聖二名誉教授と株式会社シャルマン（福井県鯖江市）の「レーザ微細溶接による高機能チタン製眼鏡フレームと医療機器の開発」及び、金沢大学 安藤敏夫特任教授並びに株式会社生体分子計測研究所（茨城県つくば市）による「高速バイオ原子間力顕微鏡」の2件が決定されましたが、2件とも北陸ライフサイエンスクラスター事業に関連した案件という快挙でした。

「レーザ微細溶接による高機能チタン製眼鏡フレームと医療機器の開発」は、細かいデザインを施した眼鏡加工ができ、眼鏡ブランドに使われるとともに、福井大学とシャルマンが行っている、研究テーマ「チタンの微細加工ならびに異なるチタン接合技術による生体適合性のよい外科用器具、インプラントの作製」に展開されて、軽量化・精密化の技術を生かして、脳神経外科用のマイクロ剪刀等々の商品化が進んでおります。

金沢大学の安藤敏夫特任教授と生体分子計測研究所（茨城県つくば市）の「高速バイオ原子間力顕微鏡」については、北陸ライフサイエンスクラスター事業の前身の「ほくりく健康創造クラスター」の研究開発成果として事業化され、世界各国に輸出されており、高速バイオ原子間力顕微鏡を使い様々な研究開発が行われています。

井上春成賞表彰技術

レーザ微細溶接による 高機能チタン製眼鏡フレームと 医療機器の開発	研究者	大阪大学 名誉教授	片山 聖二
	企業	株式会社 シャルマン 代表取締役会長	堀川 馨
高速バイオ原子間力顕微鏡	研究者	金沢大学 理工研究域 バイオAFM先端研究センター 特任教授	安藤 敏夫
	企業	株式会社 生体分子計測研究所 代表取締役	岡田 孝夫

井上春成賞とは：

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の前身である新技術開発事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官でもあった井上春成氏が、わが国科学技術の発展に貢献した業績に鑑み1976年に創設された賞です。

大学、研究機関等の独創的な研究成果をもとにして企業が開発、企業化した技術であって、わが国科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献したもののなかから特に優れたものについて研究者および企業の双方を表彰するという日本の代表的な技術賞の一つです。

大学、研究機関等の独創的な研究結果であること、この研究成果を受けて、企業が開発し、企業化した技術（販売実績があるもの）であること、科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献した技術であること等が選考の対象となっております。

■ 小容量バイオマス利用研究会

北陸産業活性化センターは、今年度、未利用バイオマスの活用を核とした技術開発の推進、地域貢献モデルの提案、産学官を連携したコンソーシアムの創出支援に取り組むために、小容量バイオマス利用研究会を立ち上げました。

この研究会は、平成27年度R&D推進・研究助成に採択された、金沢大学理工研究域榎本啓士准教授「自己再生型バイオリファイナリ技術を用いた地域の熱・電力循環プロジェクト」の成果を北陸地域の新産業創出に結び付けることを目的としています。

主 旨

- 1) 1時間あたり10kgから20kgのバイオマス进行处理して熱と電力を取り出す**機構の実用化**
- 2) 実用化された機構を活用する**地域貢献モデルとビジネスモデル**（その全体を事業として回していくことが出来る地域の条件や各種外部要因の特定など）の提案
- 3) 燃焼機（反応機）の**認証機構**に求める要素策定

得られた成果は、広く公開し、年度の後半では実際のコンソーシアム組成、国・自治体等の補助金申請、国・自治体等への政策提言等具体的な成果に繋げる活動を行う。

研究会活動方針

- ・ 地域毎の事情に合わせた、“材”と“財”の循環を実現していくために必要なプレーヤーを特定し、研究会への参加を促していく
- ・ そのためには、地域毎の事情を数字に基づいて把握する必要があることから、地域経営を担う自治体の参加者を歓迎する

活動予定 月1回で10回程度開催予定

【小容量バイオマス利用研究会キックオフ】

- ◇日 時 平成28年5月11日(水)
- ◇会 場 北酸株式会社 本社会議室
- ◇参加者 11名

キックオフを行い、研究会の主旨説明および自己紹介を実施。研究会の方向と年間活動計画が了承された。

【第2回小容量バイオマス利用研究会】

- ◇日 時 平成28年6月24日(金)
- ◇会 場 株式会社タガミ・イーエクス
ファブテクノセンター
- ◇参加者 21名

タガミ・イーエクス of 工場見学および、白山市・石川県の担当者からの情報提供を実施。活発な意見交換が行われた。

【第3回小容量バイオマス利用研究会】

- ◇日 時 平成28年7月22日(金)
- ◇会 場 岸田木材株式会社
- ◇参加者 14名

氷見市民プール of 木質チップボイラー、岸田木材 of 工場見学の視察を実施。岸田木材 of 各種取組みやチップボイラーにチップを供給する際の課題とその解決方法などを参加者間で共有した。

■ 平成27年度 第3回ロボット研究会

◇開催日：平成28年3月10日(木)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加人数：79名

北陸経済連合会イノベーション推進事業部と共催で、標記研究会を開催しました。

第1部では研究会メンバーの研究・開発状況等の報告を行い、第2部ではトヨタ自動車(株)より講師をお招きし、トヨタパートナーロボットの取組状況や、実用化に向けた課題について説明していただきました。講演会后、研究会メンバーや参加者間で情報交換を行いました。



[プログラム]

第1部 研究会

第2部 講演会

講演：「ロボットと暮らす社会にむけて～パートナーロボット開発の現状と今後の展望～」

トヨタ自動車株式会社 パートナーロボット部長 玉置 章文 氏

第3部 交流会

■ 講演会 「革新的IT企業のイノベーション戦略と日本のイノベーションの行方」

◇開催日：平成28年3月24日(木)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加人数：58名

北陸経済連合会イノベーション推進事業部との共催で、標記講演会を開催しました。

公益財団法人世界平和研究所より講師をお迎えし、IT産業を代表する企業としてアップル、アマゾン、グーグルの3社のイノベーション戦略および日本のイノベーションの方向性についてお話いただきました。

[プログラム]

講演：「革新的IT企業のイノベーション戦略と日本のイノベーションの行方」

講師：公益財団法人世界平和研究所 主任研究員 雨宮 寛二 氏



■ 第15回評議員会

◇開催日：平成28年3月24日(木)

◇開催場所：金沢都ホテル

◇参加者：評議員6名ほか事務局

平成28年度の事業計画及び予算について、また評議員1名の辞任に伴う交代評議員の選任について審議を行いました。また、平成27年度の実施業務などについて報告を行いました。

〈評議員の交代について〉

退任	林 正博	株式会社福井銀行	取締役兼代表執行役頭取	新任	朝倉 真博	株式会社福井銀行	取締役兼代表取締役専務
----	------	----------	-------------	----	-------	----------	-------------



■ 賛助会員企業・団体連絡会

◇開催日：平成28年4月26日(火)

◇開催場所：ホテル日航金沢

◇参加者：17名ほか事務局

平成28年度の事業計画・収支予算、平成27年度の事業についての報告やR&D推進・研究助成事業などの説明を行いました。



■ 第18回理事会

◇開催日：平成28年6月7日(火)

◇開催場所：ホテル日航金沢

◇参加者：理事8名、監事2名ほか事務局

平成27年度の事業報告・決算報告・公益目的支出計画報告、平成28年度収支補正予算、第16回評議員会の開催について審議を行いました。



■ 第16回評議員会

◇開催日：平成28年6月29日(水)

◇開催場所：ホテル日航金沢

◇参加者：評議員会5名ほか事務局

平成27年度の決算報告・公益目的支出計画報告、平成28年度収支補正予算について審議を行いました。

また評議員1名の辞任に伴う交代評議員の選任について審議を行いました。

〈評議員の交代について〉

退任	古田 善也	株式会社日本政策投資銀行	北陸支店長	新任	鈴木 博竹	株式会社日本政策投資銀行	北陸支店長
----	-------	--------------	-------	----	-------	--------------	-------



■ 情報発信

当財団の堂谷専務理事が、「北陸地域における中小企業の雇用に関する調査・研究事業」の調査研究内容について以下の委員会等で講演しました。

● 富山県経営者協会 人事労務政策委員会

- ◇開催日：平成28年2月19日(金)
- ◇開催場所：富山商工会議所
- ◇参加者：人事労務政策委員約30名、学校関係者約10名



● 北陸経済連合会 先端技術推進委員会

- ◇開催日：平成28年3月18日(金)
- ◇開催場所：金沢都ホテル
- ◇参加者：先端技術推進委員他25名



● 北陸経済連合会 北陸産学連携懇談会

- ◇開催日：平成28年7月6日(水)
- ◇開催場所：金沢都ホテル
- ◇参加者：北陸経済連合会の会員大学の学長他11名、
北陸経済連合会の役員10名他

当財団では調査事業の報告書をホームページに掲載しております。

平成27年度調査研究事業「北陸地域における中小企業の雇用」に関する調査及び研究、「北陸地域における産業観光の現状と課題」に関する調査及び研究の調査報告書をホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

<http://www.hiac.or.jp/works/index01.html>

なお、7月28日(木)に平成27年度実施調査・研究事業の報告会を開催いたしましたので、その詳細は次号に掲載いたします。



■ 財団の行事一覧

平成28年4月～平成28年7月

4月26日(火)	賛助会員企業・団体連絡会	金沢市
5月11日(水)	小容量バイオマス利用研究会キックオフ	富山市
5月31日(火)	平成27年度監事監査	金沢市
6月 7日(火)	第18回理事会	金沢市
6月24日(金)	第2回小容量バイオマス利用研究会	能美市
6月29日(水)	第16回評議員会	金沢市
7月 8日(金)	R&D推進・研究助成審査委員会	金沢市
7月15日(金)	全国地域技術センター連絡協議会 第1回事務連絡会	東京都
7月22日(金)	第3回小容量バイオマス利用研究会	能美市
7月26日(火)	R&D推進・研究助成交付式	金沢市
7月28日(木)	平成27年度実施調査・研究事業報告会	金沢市

平成28年8月以降

8月 2日(火)	「北陸地域におけるライフサイエンス分野の産業集積」に関する調査・研究 第1回調査委員会	金沢市
8月29日(月)	第4回小容量バイオマス利用研究会	金沢市
9月30日(金)	第5回小容量バイオマス利用研究会	南砺市
9月30日(金)	北陸地域における産業活性化に関する講演会	金沢市
10月27日(木)～28日(金)	第44回全国産業活性化センター会議	大阪市
10月20日(木)～21日(金)	北陸技術交流テクノフェア	福井市
10月21日(金)	第6回小容量バイオマス利用研究会	未定
11月10日(木)～11日(金)	全国技術センター連絡会議 第2回事務連絡会	金沢市
12月 2日(金)	北陸産業活性化フォーラム	金沢市
12月 2日(金)	【北陸ライフサイエンスクラスター】外部評価委員会	金沢市
12月	第14回北陸・中部産業活性化センター連絡会議	

※当財団では、行事のご案内を随時ホームページでご紹介しております。是非ご覧ください。

株式会社福井銀行

創業 明治32年(1899年)12月19日
所在地 福井県福井市順化1丁目1番1号
資本金 179億65百万円
本店・出張所 96か所
従業員数 1,365名(出向者含む)

事業内容
預金、貸出、内国為替、外国為替、その他の付随業務



執行役本店営業部長
湯浅 徹氏

福井のトップバンクとして、福井にこだわり、福井を元気にしたいと地域創生に取り組む(株)福井銀行にお話を伺います。

—地方創生に向け、まちづくりを主導します

2023年頃の新幹線の敦賀延伸は福井を盛り上げる絶好の機会です。まずは福井駅前のユアーズホテルフクイの建て替えを含む福井駅西口エリアの再開発計画は、当行が森ビル都市企画(東京)と連携し、支援します。計画から携わるのは全国的に地方銀行では珍しいようです。

当行も2020年春に現在地にて本社ビルを新築し、まちづくりに独自で一翼を担いたいと考えています。福井駅前が地域創生の起爆剤となり、そこからまち全体に波及させたいと考えています。

—銀行として福井への思いについて

2015年4月から3か年の新中期経営計画「Create Chance Create Future」を策定し、福井の活性化に向けて取り組んでいます。人口減少が確実な中、地域を支える金融機関として従来の金融機関の役割を越えて、「まち・ひと・しごと」の創生と地域経済の持続的好循環の確立に向けた取組みを戦略的に推し進めることを目的としています。自治体や大学と連携協定を締結して産業振興について協働し、「未来へのチャンス」を創造していきます。

—福井ならではの新しいサービスも始めました

4月28日福井駅西口にオープンした「ハピリン」内に「WiL (Woman's inspiration Library)」を開設しました。

福井は女性の社会進出が高いので、働く女性を応援することをコンセプトにカテゴリーライズした書籍に囲まれ、気軽に訪れることができる空間



約800冊の書籍が並ぶWiLでは女性スタッフ3名とPepperが行員として駐在

を提供しています。

また、福井県内の支店の女性職員で結成した福井県観光活性化プロジェクトチーム「ふくジェンヌ」が、女性目線で地元の情報を集めて独自の観光ルートを提案しています。

また今年4月に、福井新聞社と共同で、全国的な電子マネーサービスと福井独自の地域サービスを提供する多機能型ICカード「JURACA」を発行しました。スタートから大変好評で、さらに利便性を向上し、いずれは県内の3次産業をこのカード一枚で網羅できるように取り組みたいと思います。



ふくジェンヌが福井の魅力を紹介



「nanaco」や「QUICPay」を搭載したJURACAは独自の割引・優待サービスも受けられる

—人財強化にも力を入れています

若手の積極登用、女性の活躍機会拡大、ベテランの豊富な経験を活かすなど長期人財戦略を立てています。当行は女性職員が多く、女性支店長が10年前から誕生し、現在も多くの女性支店長代理が出ているなど、女性の活躍に力を入れています。

ほかにも全支店長が事業承継の課題解決に貢献できるよう全支店長が「事業承継・M&Aエキスパート」を取得したり、新任支店長を対象に支店長塾を開講したり、行員向けに著名人を呼んで「人間力底力アップセミナー」を行うなど行員全体のレベルアップを図っています。

HIAC NEWSは(一財)北陸産業活性化センターの事業活動の告知や報告、および関係企業様の情報等をご提供する会報誌(年3回発行)です。